

平成29年度 第3回帯広市総合計画策定審議会 議事概要

日 時 : 平成29年11月27日(月) 18:30~19:35
場 所 : 帯広市役所10階第5B会議室
出席委員 : 金山会長、小山職務代理者、有塚委員、岩田委員、氏委員、太田委員、
河野委員、日月委員、林委員、村田委員、森委員、森下委員、山田委員、
渡辺委員(以上14名)
説明員 : 安達政策推進部長、中里政策推進部企画調整監、石井企画課長、
(事務局) 西尾企画課副主幹、中西企画課主査、畠山企画課主査、高橋企画課主査
千葉企画課主査、今井企画課主任補、土田企画課主任補
傍聴者等 : 報道関係者3名
配付資料 : 会議次第、委員名簿、資料1~5

◆会議次第

1. 開会
2. 市長挨拶
3. 委員紹介、事務局紹介
4. 議事
 - (1) 会長の選出について
 - (2) 職務代理者の指名について
 - (3) 帯広市総合計画策定審議会の運営について
 - (4) 新しい総合計画の策定について
 - ①これまでの総合計画の概要について
 - ②新しい総合計画の策定方針及びスケジュールについて
 - (5) その他
5. 閉会

◆議事概要

【事務局】 本日が委員改選後の最初の会議となることから、会長を選任していただく必要があり、委員長が選任されるまでの議事は、事務局において進めさせていただく。

本日は、委員15名中、14名の委員が出席し、過半数に達しているため、帯広市総合計画策定審議会条例第6条第2項の規定により、会議が成立している。

はじめに、(1)「会長の選出について」を議題とする。会長は、帯広市総合計画策定審議会条例第5条第1項の規定により、互選により定めることになっている。会長の自薦または推薦などについて、ご意見はあるか。

【委員】 前回も会長を務めた金山委員を、引き続き、会長に推薦したい。

【事務局】 金山委員を会長に推すご発言があったが、他にあるか。

(委員からの意見なし)

【事務局】 他にないようなので、会長は金山委員に決定とする。

(会長挨拶後、市長退席)

【会長】 それでは、引き続き、(2)「職務代理者の指名について」を議題とする。職務代理者については、帯広市総合計画策定審議会条例第5条第3項の規定により、会長が指定することになっていることから、小山委員にお願いする。

(委員、了承)

【会長】 次に、(3)「帯広市総合計画策定審議会の運営について」を議題とする。事務局から説明願いたい。

— 事務局より資料1に基づいて説明 —

【会長】 ただ今の説明について、質疑はあるか。

(委員からの意見等なし)

【会長】 別になければ、次に(4)新しい総合計画の策定について、の①「これまでの総合計画の概要について」を議題とする。事務局から説明願いたい。

— 事務局より資料2、3に基づいて説明 —

【会 長】 ただ今の説明について、質疑を行う。ご意見等はあるか。

【委 員】 市民へのアンケートはどのように行っているのか。

【事務局】 アンケートについては、市民4,500名を抽出して、実施している。

【会 長】 次に、②「新しい総合計画の策定方針及びスケジュールについて」を事務局から説明願いたい。

— 事務局より資料4、5に基づいて説明 —

【会 長】 ただ今の説明について、質疑を行う。ご意見等はあるか。

【委 員】 市の人口が13万1千人になるとの推計であったが、その時期を西暦で教えていただきたい。

【事務局】 2060年である。

【委 員】 第六期総合計画策定の際は、委員は30名で、専門部会も設けていたとのことだが、今回、委員を15名として専門部会を設けなかった理由について、教えていただきたい。また、これまでの審議会では現総合計画の進捗状況について審議を行ってきたが、こちらも同時並行で進めることになるのか。

【事務局】 審議会委員の人数については、第五期、第六期策定時ともに30名であったが、30名では議論しづらい面などもあったことから、やり方を工夫することで15名でもできると判断したところ。専門的なテーマで議論する際は、その分野の専門的な知識を持った方に参加してもらうことも検討している。また、現総合計画の期間はまだ残っているため、現総合計画の評価については、新しい総合計画の策定と併せて、進めていく。

【会 長】 15名で十分ではない部分については工夫する必要がある。事務局には効率的な情報収集、運営をお願いしたい。具体的な検討事項が見えてくるのはいつ頃になりそうか。

【事務局】 次回は、人口減少、施設の老朽化への対応、財政の縮小など、時代の潮流に係る資料を具体的に示し、情報の共有を図りながら、議論を

進めていく予定である。また、来年5月以降は各論に入って議論を進めることになるが、子育て、教育など専門的な分野については、その分野の専門家や担当課にも参加していただくなど、効率的な運営に努めたい。

【会 長】 諮問への答申については、第六期総合計画の答申と同様の形をイメージしているということで良いか。

【事 務 局】 そのように想定している。

【会 長】 以上をもって、本日の会議を終了する。

以上